



松本ハイランド農業協同組合

2017年2月23日

報道関係各位

イオンモール株式会社
Six Sense株式会社
松本ハイランド農業協同組合

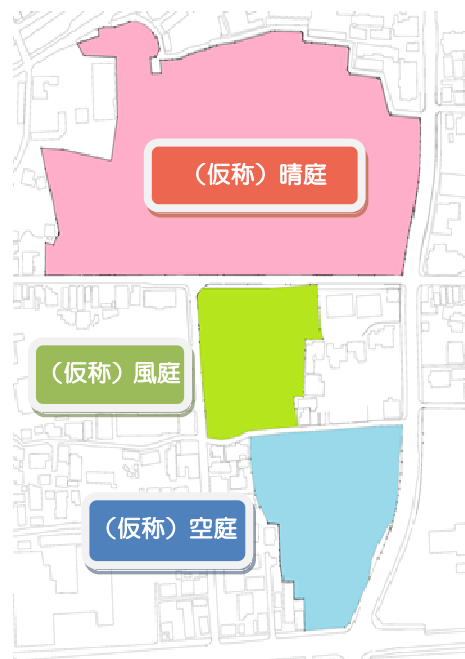
「イオンモール松本」 「ヒカリヤ」並びに「JA松本ハイランド」との出店合意について

イオンモール株式会社（以下、当社）は、Six Sense株式会社（松本市大手4-7-14 代表取締役 齊藤 忠政、以下、ヒカリヤ）ならびに、松本ハイランド農業協同組合（松本市南松本1-2-16 代表理事組合長 伊藤 茂、以下、JA松本ハイランド）との間で2017年秋オープン予定の「イオンモール松本」への出店に関する基本合意に至りましたのでお知らせいたします。

イオンモール松本は、「松本市の目指すまちの姿と開発計画に対する基本的な考え」を踏まえ、1F『晴庭（仮称）』内において、昭和初期を象徴する近代建築物「カフラス旧事務所棟」（建物外観）の復元再生に取り組みます。これにより、松本市の文化や歴史、風情を感じられる空間づくりに挑みます。また、復元再生建物内には、明治20年の歴史的建築物名門商家「光屋」のリノベーションおよび運営を行うヒカリヤがプロデュースする新業態レストラン・カフェを展開します。現在、新たなメニュー開発に加え、『カフラス』で実際に使われ今に残る器具・備品の一部を活かした個性溢れる場づくりを計画しています。

また、（仮称）空庭1Fでは、JA松本ハイランドによる本格的な農畜産物直売所を展開します。新鮮で高品質な地元の農畜産品の食材に加え、農業の6次化時代に対応する新たなスタイルの農と食の世界を、JA松本ハイランドのセレクトにより実現します。地元の食文化や季節の変化を感じられる売り場づくりに加え、地域に開かれたイベントや生産者と消費者の交流の場づくりを計画し、松本市中心市街地の東端（国宝松本城や松本市美術館、あがたの森公園などの観光スポットから1km圏内）という立地を活かした、新たな拠点づくりに挑戦いたします。

これからもイオンモールは、究極のローカライズをめざし、地域をつなぐ生活文化拠点を創出することで松本市の更なる発展、地域経済の活性化に寄与して参ります。



<出店概要>

■ Six Sense 株式会社出店計画案

- ① 店 舗 名：ヒカリヤ（仮称）
- ② 出店エリア：イオンモール松本 晴庭（仮称）1F
- ③ 契約面積：約200㎡
- ④ 出店業種：洋食レストラン・カフェ（テイクアウトあり）

■ 松本ハイランド農業協同組合出店計画案

- ① 店 舗 名：JA松本ハイランド（仮称）
- ② 出店エリア：イオンモール松本 空庭（仮称）1F
- ③ 契約面積：約330㎡
- ④ 出店業種：農畜産物直売所（青果・米・精肉・ワイン・加工品・イートイン）



図1 「カフラス旧事務所棟」(建物外観)の復元再生イメージ



図2 JA松本ハイランド出店予定『空庭(仮称)』外観イメージ

【本件に関する問い合わせ先】

イオンモール株式会社 広報部 TEL：043-212-6733

Six Sense株式会社 新店舗開発準備室 後藤・石橋 TEL：0263-33-6303

松本ハイランド農業協同組合 営農部 TEL：0263-25-7541